

ご来館の皆さまへ

お願い

- ・ペットの同伴はお断りしております（ただし盲導犬・介助犬・聴導犬は可）
- ・館内での飲食はご遠慮ください（熱中症対策の水分補給を除く）

西部3Rステーションではフードドライブ活動を行っています！

あなたのご家庭に食べきれずに余っている未使用の食品はありませんか？西部3Rステーションでは常時「フードドライブ」活動を行っています。ご提供いただいた食品は「特定非営利活動法人フードバンク福岡」を通じて、子ども食堂や福祉施設など食べ物を必要としている方々へ無償で配布されます。ご提供いただく食品は1点から大歓迎。これまで寄付の方法がわからず捨てていた食品を持ち寄り、支援の輪を広げましょう。

ご家庭で  
余っている食品を  
ご提供ください！



**日時** 毎日10:00～16:00※休館日を除く **場所** 西部3Rステーション2階受付  
**対象となる食品** 未使用・未開封のもので、賞味期限まで1か月以上あるもの。  
 缶詰やレトルト食品、乾物、菓子、米、飲料、調味料など常温保存可能なものに限りです。

西部3Rステーションでは、各種体験講座を行っています。福岡市内にお住まいの方、通勤や通学をされている方なら、どなたでもご参加いただけます。みなさんも身近な3Rを体験してみませんか？

体験講座

すべて無料！

内容は変更する場合があります

牛乳パックで紙すき

毎日 10:30～15:30  
 所要時間30分程度  
 申込 随時



食品トレイでマグネットインテリア

毎日 10:30～15:30  
 所要時間30分程度  
 申込 随時



はぎれ(布・革)で作るストラップ

毎日 10:30～15:30  
 所要時間30分程度  
 申込 随時



身近なもので万華鏡

毎日 10:30～15:30  
 所要時間30分程度  
 申込 随時



廃油で“リサイクル”せっけん作り

水曜日 10:30～11:30  
 定員 10名/日(先着順)  
 申込 希望日の3日前まで



体験講座の申込方法 電話、または西部3Rステーションの2階受付で直接お申込みいただくか、①体験内容②住所③氏名④年齢⑤電話番号を明記のうえ、メール(seibuplaza2@f-kankyo.or.jp)、FAX(092-882-4580)にてお申込みください。

生ごみ堆肥相談会

生ごみの堆肥化でお困りの方は何でも相談ください。

■ふくおか環境倶楽部主催  
 日時/毎月第2・第4土曜日  
 13:00～16:00

場所/2F啓発コーナー  
 参加費/無料 事前申込/不要  
 ※基材・テキスト購入可



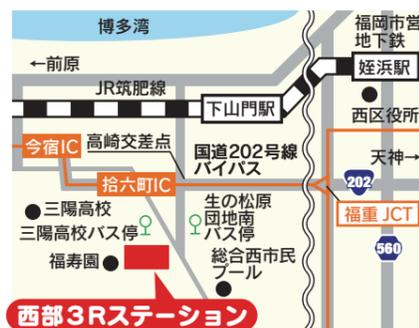
福岡市西部3Rステーション

開館時間 10:00-17:00  
 (衣類の持ち込みは16:00まで)

休館日 月曜日  
 (休日の場合は開館し、次の平日休館)

TEL 092-882-3190 FAX 092-882-4580  
 〒819-0162 福岡市西区今宿青木1043番地の2

バスでのアクセス  
 姪浜・天神・博多方面より  
 西鉄バス「三陽高校前」バス停より徒歩約2分  
 西鉄バス「生の松原団地南」バス停より徒歩約5分  
 [西鉄バス情報]http://www.nishitetsu.jp/bus/



http://www.fukuoka-seibuplaza.com 福岡市西部3Rステーション 検索

ぐるぐる便り



私たちの身近な自然“川”

私たちの身近な自然の一つに川があります。川は山の奥から始まり、田畑の広がる里を流れて、やがて海にたどりつきます。川は森、里、海をつないでいます。川は私たちに洪水など水害の脅威を与える一方で、様々な恩恵をもたらしています。私たちの体の約60%は水分です。その水分は、飲み水や食事から摂取します。飲み水は川の水を使った水道から、食事は川の水で潤う田畑で育った米や野菜からであり、川の水は発電にも使われます。私たちは川と密接につながっているのです。また、川は魚・鳥・植物などたくさんの生き物の生息地になっています。しかし、そんな川にある問題が起こっています。



# 川の問題

近年、川は洪水などの水害を防止するためにコンクリートなどによって改修、整備されてきました。その流域に暮らす人々にとっては、安心して生活できるようになります。しかし一方で魚、特に遡河魚（そかぎょ）にとっては、暮らしにくい環境です。遡河魚とは、サケやマス、アユなど、産卵などのために海から川へさかのぼる魚のことです。川を横切る堰（せき）などによって川をさかのぼれなくなりました。

そこで、魚専用の階段を作るなど魚道（ぎょどう）をつくる取り組みが各所で行われています。福岡市を流れる室見川でも魚道が設置されています。



室見川の魚道  
出典：福岡市  
生物多様性ふくおか  
センターHP

市内を流れる川の様子

もう一つ川の問題としてごみ問題があります。川にあるごみは、どこから来るのでしょうか？

私たちの暮らす街中から来ています。ポイ捨てされたものや、鳥などによって散乱したごみなどが、雨に流されて側溝などをつたって川に流れ込みます。川のごみはやがて海に出ていってしまいます。ちなみに、海へ流れ込むプラスチックごみの8割は私たちの暮らす街中（陸域）から発生しています。

ペットボトルや発泡スチロールなどのプラスチックごみは、なかなか自然に分解されないため、川や海が汚れたままになってしまいます。

そこで、ポイ捨てをしない、きちんとごみを捨てるなど私たち一人ひとりの取り組みが大切です。

西部3Rステーションでは、地域の河川清掃も行っています。

# 西部3Rステーションの取り組み

## 壱岐校区河川清掃

5月10日(土)には、西区壱岐校区を流れる十郎川（じゅうろうがわ）と名柄川（ながらがわ）の清掃に参加しました。地域の方と一緒に背丈まで伸びた草をかき分けかき分け、ごみを拾っていきました。地域の方によると、10年前と比べて自転車などの大型のごみはあまり見かけなくなったそうです。



壱岐校区河川清掃の様子

## #あしもとから

毎月15日は、「#あしもとから」と題して、環境団体、企業、校区などと協働で地域のごみ拾いをしています。5月は城南区樋井川で実施しました。川辺の草には風で飛ばされたビニール袋がひっかかっていたり、ペットボトルや空き缶が大量に捨てられていました。

しかし、そんな川でも大きな鯉やナマズ、小さな魚、エビなどと出会うことができました。ごみ拾いは、ちょっといいことをした気分にもなり、身近な自然に触れ合うきっかけになります。みなさんも、地域のごみ拾いをやってみませんか。



#あしもとからの様子